

放課後等ディサービス 夢門塾 自己評価表

記入日 2021年1月25日

夢門塾ゆうゆう今津

チェック項目		はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	① 利用定員と指導訓練室のスペースは適切である		2	2	・物などを片付け何も置かないようにしている。 ・もう少し活動スペースが広い方が良い。 ・部屋が狭い。
	② 職員の配置は適切である	1	1	2	・職員が少ない。 ・パート職員が欲しい。
	③ 衛生面の管理が行き届いている	4			・毎日徹底してアルコール消毒を行い、2ヶ月に1回抗菌除菌コーティングをし、掃除が行き届いている。 ・来所時、手指のアルコール消毒・衣類への衛生除菌水の徹底を行っている。
業務改善	④ 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定を振り返り)に、広く職員が参画している	1	3		・職員全員が把握しているとは思わない。
	⑤ 保護者向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者様の意見を把握し、業務改善につなげている	3	1		・アンケート調査以外でも日々、保護者様の意見を聞き業務改善に繋げている。
	⑥ 自己評価の結果を公開している	4			・毎年、ホームページで公開している。
	⑦ 職員の資質向上のため、会議・研修の機会を確保している	2	1	1	・コロナの影響もあり、研修会に行けなかった。今後はオンライン上で受講できるものなど調べていき、参加したいと思う。
適切な支援の提供	⑧ アセスメントを適切に行い、子どもと保護者様のニーズや課題を客観的に分析した上で、個別支援計画を立てている	3	1		・児発管がきちんと行っている。
	⑨ 活動の計画をチームで行っている	3		1	・月1回の会議やミーティング・普段の会話等でやりたい活動があることも伝え相談し、行っている。
	⑩ 活動の計画が固定化しないよう工夫している	4			・ネットや本などで調べている。 ・曜日のメンバーによっては似た活動になりやすいが、変わった活動をし、ルール理解が難しい児童に対しては理解しやすい表現方法を考えて伝えるようにしている。
	⑪ 平日、休日、長期休暇に応じて、課題を決め、細やかに設定し、支援している	3	1		・季節・学校行事に応じ、毎月細やかに活動を決めている。
	⑫ 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、活動を計画している	4			・集団活動が難しい児童には、同じ活動でも少人数で行っている。
	⑬ 支援開始前に、職員間で打ち合わせし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	4			・毎日、朝礼で確認している。 ・職員が一つのところに固定しないよう、役割分担表を作成し調整を行っている。
	⑭ 日々の支援に関して正しく記録をとる事を徹底し、支援の検証・改善につなげている	3	1		・提供記録を徹底している。 ・児童に対しバイアスのかかった内容のものを書きそうになる為、十分に客観的視点を持って記録し、支援の改善に努めたい。
	⑮ 定期的にモニタリングを行い、個別支援計画の見直しの必要性を判断している	4			・児発管が中心となって行っている。
	⑯ ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っている	3	1		・よく分からぬ。

関係機関、保護者様との連携	⑯ 学校との情報共有(年間計画・行事予定等予定の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行えている	4			・学校への送迎時など先生との情報共有・連携ができる。・下校時間が急に変更した際、学校から事業所に電話連絡をして下さる。
	⑰ 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定子ども園、児童発達支援事業所等との情報共有と相互理解に努めている		3	1	・就学前の保育所等の情報共有はできていない。
	⑲ 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障がい福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供している		3	1	・卒業するも移行する児童がまだいない。今後、必要となる生徒も考えられる為、求められる情報は何かを調べておく。また、サービス移行に際し、児童・生徒に必要となる能力等を育てられる活動を提案・実践していく。
	⑳ 児童発達支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている		2	2	・児童発達支援センターとの関わりがない。
	㉑ 日常的に子どもの状況を保護者様と連携し、発達状況や課題について共通理解を受けている	3	1		・送迎時に話をできる保護者様はいるが今後も関係作りを進めていく。
保護者様への説明責任等	㉒ 運営規定、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	3	1		・契約時、丁寧な説明を行っている。
	㉓ 保護者様からの子育ての悩み等に対する相談に応じ、必要な助言を行っている	2	2		・送迎時やモニタリングの時に、保護者様の気持ちをくみ取り助言を行っている。
	㉔ 保護者会等を開催し、保護者同士の連携を支援している	-	-	-	コロナ対策のため本年度は開催が困難であった
	㉕ 子どもや保護者様からの苦情について、対応体制を整備、周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	4			・保護者様の苦情とのギャップがあり、適切に対応できなかった。
	㉖ 定期的に会報等発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を発信している	4			・毎月、発行している。
	㉗ 個人情報に十分注意している	4			・お便りやブログ作成など顔を載せることがNGな児童には注意している。・職員にも徹底して指導している。
	㉘ 障がいのある子どもや保護者との意思疎通や情報伝達のための配慮をしている	4			・分かりやすいように話している。・視覚的支援を行っている。・コドモンに写真を貼りつけるなどし、情報を共有している。
	㉙ 地域の行事に参加したり、事業所に地域住民を招待する等し、地域に開かれた事業運営を行っている		2	2	・コロナの為、事業所に集まることは困難だったが、施設周辺の清掃活動という形で協力できたと思う。
	㉚ 緊急対応、防犯、感染症マニュアルを策定し、周知している	4			・いつでも見ることができるようしている。
非常時などの対応	㉛ 非常災害の発生に備え、定期的に避難訓練を行っている	4			・年二回行っている。
	㉜ 虐待防止のため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	3	1		・年一回行っている。
	㉝ いかなる場合も身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者様に事前に十分説明し、了承を得た上で支援計画に記載している	4			・身体拘束をする該当者なし。
	㉞ 保護者様に記入いただいた与薬表をもとに、子どもへの投与を行い、チェックを行っている		1	3	・与薬表の記載がなく、時々鼻炎薬を持ってきて飲んでいる児童がいる為、今後の対応を考えたい。
	㉟ ヒヤリハットを綴り、事業所内で共有している	3	1		・ヒヤリハットのノートを作り、職員がいつでも書き込み・閲覧できるようにしている。